

馬あれこれ

長沼町図書館

生態や歴史から小説まで、馬のあれこれを集めました。ほんの一部のご紹介です。

銀色のステイヤー

河崎秋子著 KADOKAWA 2024

北海道で「幻の三冠馬」を父馬に生まれたシルバーファーン。牧場長はその性格の難しさに課題を感じていた…。波乱の日常と爽やかなラストが胸を打つ、新たな馬文学！

黄金旅程 EgonUrrea

馳星周著 集英社 2021

「史上最強の二勝馬(シルバーコレクター)」と揶揄される馬、エゴンウレア。しかしエゴンを愛する人々の力が奇跡を起こす。競走馬に未来を託す者たちの生きざまをリアルに描いた感動巨編。



天翔る

村山由佳著 講談社 2013

学校に行けなくなってしまった少女が出会ったのは乗馬耐久競技(エンデュランス)という未知の世界だった。北海道の牧場を舞台に描かれる命の輝き。祈りと希望の物語。

輓馬

鳴海章著 文芸春秋 2020

輓曳競馬の世界に生きる男たちと馬の交流を鮮烈に描いた、挫折と復活の北紀行。

エカシの森と子馬のポンコ

加藤多一作 大野八生絵 ポプラ社 2020

少女からおとなになる子馬のポンコを、やさしいまなざしで描く物語【児童書】

ウマと話すための7つのひみつ

河田棧文と絵 偕成社 2022

ウマと話すことができたなら? 「動物と話してみたい」という子どもたちの願いにこたえる「馬語」の入門書。与那国島でウマを相棒に暮らす著者が発見した、ウマと話すための7つの秘密を絵本で伝えます。【児童書】



馬と生きる たくさんのふしぎ 2019年11月号

澄川嘉彦文 五十嵐大介絵 福音館書店

馬と人が助けあうくらしがのこっている岩手県遠野市。馬を使って木を運ぶ地駄引きを50年にわたり続けてきたあるおじいさんの暮らしを描く。



【児童書】

ザ・ロイヤルファミリー

早見和真著 新潮社 2019

馬主でもあるワンマン社長に仕える秘書の視点から、人と馬、それぞれの親子を描く

黒馬物語 光文社古典新訳文庫

アンナ・シューウェル著 光文社

馬の視点から語られた動物文学の歴史的傑作

日本の馬の仕事図鑑

緑書房

競馬、誘導馬、馬術競技、警視庁騎馬隊、流鏝馬・・・国内で働く馬たちに焦点を当て、その仕事内容と意義、馬たちの働きぶりを写真と共に紹介。

セカンドキャリア

片野ゆか著 集英社 2023

レースで走る馬たちは、この後どこへ行くのだろうか? 競馬業界に関わる人々取材したノンフィクション。

ウマの絵本 そだててあそぼう

農山漁村文化協会 2009

人間とともに生きるウマの歴史や生態、暮らしぶり、飼い方、調教、乗り方などを紹介。【児童書】



ウマ大図鑑 びっくり能力と種類、歴史がよくわかる!

日本ウマ科学会監修 PHP研究所 2013

ウマの種類から、からだのつくりやびっくり能力、人とウマの歴史まで、ウマについて知りたいことを豊富な写真とともにわかりやすく解説【児童書】

